

## 猫よけ方法

### 《忌避剤》

- ・猫の嫌いなにおいや刺激性によって猫が近づきにくくする方法です。
- ・雨や風で効果が薄れてしまうので、効力を維持するために定期的に交換しましょう。
- ・猫が薬剤に慣れてくると効かなくなるので、ときどき種類を変える必要があります。
- ・においがきついものや色がついてしまうものもあります。

あらかじめ、近所の人にも説明しておきましょう。

生にんにく	細かくきざんで撒く。ネットに入れて吊るす。
とうがらし	細かくきざむか粉末状のものを撒く。
コショウ（挽いてあるもの）	散布する。
カレー粉など香辛料	
コーヒーかす	コーヒーを淹れたあとのカスを散布する。
どくだみ茶などの茶がら	茶がらを散布する。
食用酢	容器に入れるか、スポンジや布に浸み込ませて置く。 2倍から10倍程度に水で薄めたものを噴霧する。
木酢液	容器に入れるか、スポンジや布に浸み込ませて置く。 スプレーにすれば、猫の臭い消しにも有効。
米のとぎ汁	磨ぎはじめの濃い汁を毎日撒く。
ミカンなどの皮	ミカンなどかんきつ類の皮を撒く。あるいはかんきつ類の香りのする薬品を置く。
ハーブなど植物	猫の嫌がる香りのするハーブなどを植えるか、鉢植えを猫の通り道に置く。あるいはハーブの香料を置く。 ゼラニウム、レモングラス、ヘンルーダー、タンジー、メントール、ローズマリー、ペパーミント、スペアミント、レモンティーツリー、チャイブなど
重曹	撒いたり、土に混ぜ込むことで、猫のにおいを消すことができる。

以下の薬剤も効果がありますが、毒性があるので、人が食べたり、飲んだり、吸引してしまうことのないよう、取り扱いに注意が必要です。

幼児のいるご家庭や公共の場所では使用しないでください。

タバコの吸殻水	タバコの吸殻を水やお湯につけておいたものを撒く。 誤って飲むとニコチン中毒になるおそれがある。
塩素系漂白剤	ブリーチやハイターなどを濃いめに水で薄めて容器に入れておく。散布すれば猫の臭い消しにも有効。 目、鼻、喉の粘膜を痛めるおそれがある。また腐食するので金属部には使用できない。
ナフタリン・樟脳	ネットに入れて風上に吊るす。土に埋める。幼児が誤って食べると中毒をおこすおそれがある。

これらのほかに、市販品が、園芸店、ホームセンター、ペット店、スーパーで売られています。

## 《構造物》

- 猫にとって歩きにくい状態にしたり、侵入できないようにする方法です。
- 全面に実施しなくても、侵入口が限定されている場合はその箇所に設置すればよいでしょう。

水	ホースでたっぷり水をまく。
砂利	角のある大きめの砂利を敷きつめる。
松ぼっくり	猫が歩くところに敷きつめる。
枯れ枝	球根や種が植えてある所に敷き詰めると掘り返されない。
ヒイラギの葉	ヒイラギの葉、あるいは葉のついた小枝をあちこちに置く。
大きな石	物理的に歩けなくなる位置に石を置く。
とげとげシート	ホームセンターや園芸店で販売されている。全面に敷き詰めなくても跳び越えられない幅に敷けばよい。
粘着テープ	ガムテープや両面テープの粘着面を上にして設置する。足裏がベトつくのを嫌うため。粘着力が落ちたら交換する。
目の細かい網	敷くと爪が引っかかり歩きにくい。
アルミホイル	敷くと足音がするので嫌がる。
ネットや柵	乗り越えられない高さ（1.5メートルほど）の網、柵、ラティスで囲うか、侵入路をふさぐ。爪のかからない材質で覆うと良い。

- 以下の侵入防止策は、人が転んだときに怪我をするおそれのない場所に設置しましょう。

テグス	釣糸などテグスを猫の足が引っかかる高さになるように、侵入口や通路に張る。釣糸は猫の目には見えないので、何かが触れる感を嫌う。
割り箸	通路や花壇に立てる。

- やわらかい土の地面は猫のトイレ場になりやすいので、タイルを敷きつめたり、コンクリートで覆うという方法もあります。ただし、効かない猫もいます。
- 水を入れたペットボトルを設置する方法は、火災の原因となるのでやめましょう。

## 《機器》

超音波発生装置	猫の動きを感知して、自動で猫の嫌がる高周波の音波を発生する装置。
---------	----------------------------------

## 《猫がやってきたときに撃退する方法》

水鉄砲	猫は水で濡れることを嫌うので追いはらうことができる。ただし、人がやっていることがわかってしまうと、不在時に侵入するようになるので、猫に見やぶられないように隠れてすると良い。
ブザー	遠隔操作式のものやセンサー付きのものが防犯コーナーに販売されている。猫が通過するときに鳴らすと警戒して近寄らなくなる。

## ご注意！

猫は愛護動物です。虐待になるようなやり方は法律で罰せられます。